

平成31年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（市町村分） 個票

市町村名 庄原市
 本事業の担当部局名 企画振興部自治定住課

事業メニュー	優良事例の横展開支援		
区分	結婚に対する取組		
関連事業メニュー	1-(3) その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組		
個別事業名	しょうばら縁結び事業	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ～ 平成32年3月31日		
所要見込額 ※ (注) 1	1,283 千円	補助率: 1/2	(交付金所要額: 641 千円)
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※ (注) 2	<p>庄原市では、結婚への取組をより実効性のあるものとするため策定した「庄原市結婚支援アクションプラン」において、具体的な結婚支援策として次の取組を行うこととしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 機運づくり <ul style="list-style-type: none"> ・結婚に関する情報の収集と提供 ・地域・企業・団体・行政の連携による結婚応援活動 (2) ひとづくり <ul style="list-style-type: none"> ・縁結び支援員（マリッジコーディネーター）の配置及び育成 ・縁結び応援隊員（マリッジコンシェルジュ）の配置及び育成 ・企業サポーターの登録及び育成 (3) 出会いづくり <ul style="list-style-type: none"> ・意識改革セミナーの実施 ・未婚者の出会いの場の設定や交流イベントの実施 (4) 拠点づくり <ul style="list-style-type: none"> ・しょうばら縁結び窓口の設置 <p>本事業は、これらの取組を総合的に実行するための施策である。</p>		
	<p>(個別事業の内容) ※ (注) 3</p> <p><これまでの取組> 平成28年度から、直接的な結婚に向けた支援に取り組み、出生数を向上させ、結婚後も引き続き本市へ住み続けてもらえる施策として、結婚後市内に生活の拠点を置く予定の結婚希望者を対象に「しょうばら縁結び事業」を立ち上げ、精力的に結婚支援に取り組んできた。会員数を拡大しながら、縁結び支援員（マリッジコーディネーター）及び縁結び応援隊員（マリッジコンシェルジュ）を中心に出会いの機会づくりやアフターケア等に取り組んだ結果、これまで52組104名の男女がイベント等でのマッチング後に交際を開始し、セミナー等で自己啓発を図った会員を含め24名が成婚している。</p> <p><見えてきた課題とそれに対する対応> ニーズに応じた支援メニューを構築するため、平成30年度に全会員を対象に行ったアンケートでは、希望する結婚支援として「お見合い相手の紹介やお見合いのセッティング」「小規模の出会いイベントの開催」「個別の恋愛・結婚に関する相談やカウンセリング・助言」を望む独身者が多数であることがわかった。 この結果を踏まえ、今後は各会員の個別具体的な支援に重点を移していく方向としているが、その際の課題として、会員情報がマッチング支援に活用可能な程度にデータベース化できていないことが挙げられる。よって、<u>会員データの整理・高度化への対応が急務である。</u> 同時に、<u>会員データをもとにマッチングを図る支援員及び応援隊員の育成や、市内の企業・団体と連携を行う地域をあげた結婚応援、フォローアップの強化等、支援体制を充実させていく必要がある。</u></p> <p>1. 縁結び支援体制の強化 <委託料: 462千円> ①縁結び会員データベースの構築・高度化 (200千円) 現在本事業のホームページ上で管理している会員データについて、<u>新たに会員同士のマッチング支援に活用できるよう機能改善を行う。</u> ・システム改善費 200千円</p>		

②支援者の育成（262千円）

本事業の企画・進捗管理・情報管理・事業推進を行う専従者である縁結び支援員（マリッジコーディネーター）を2名配置・育成する。また、市内7地域に縁結び応援隊員（マリッジコンシェルジュ）を10名配置・育成し、地域や個々の対応に応じた個別の相手紹介や個別相談に応じる。その他、地域をあげて結婚支援に取り組むため、市内の企業・団体向けに結婚支援の取組に対する理解と協力を得るためのセミナーを開催する。

<支援者向け研修会> ※2回開催、支援員及び応援隊員12人参加

- ・講師謝礼 60千円 @30千円×講師2人
- ・旅費 50千円 支援員研修会@20千円 応援隊員研修会@30千円

<企業・団体セミナー> ※1回開催、企業・団体担当者20人の参加を予定)

- ・講師謝礼 30千円 @30千円×講師1人
- ・会場借上料 5千円
- ・印刷費 25千円

<その他>

- ・協力企業・団体用掲示サイン 60千円 @1,711円×35社
※本事業に賛同する企業・団体へ掲示サインを提供し、事業所等への掲示を依頼
A4カラーアルミ複合版（新規1社（団体）につき1枚提供）
※A4チラシ750枚、A3ポスター114枚を企業・団体へ配布
- ・県連絡会議参加旅費 32千円 @5,400円×6回（支援員2人参加）

2. 結婚希望者のマッチング支援 <委託料：821千円>

マッチング精度を高めるため、新たにデータベース化した会員情報を活用し、以下の支援を実施する。

①お見合いの実施（55千円）※56人参加予定（H29実績ベース）

応援隊員はお見合い希望者同士の引き合わせを調整し、1対1のお見合いを随時開催する。1回の開催につき、お見合い希望者2人と各担当の応援隊員2人（両お見合い希望者とも1人の応援隊員が担当する場合は1人）が参加する。引き合わせ後は、応援隊員により相談対応等のフォローアップを行う。また、応援隊員を対象に、事例やノウハウ等の情報交換とお見合い希望者同士の引き合わせの検討を目的とした円卓会議を毎月開催する。

- ・会場借上料 6千円 円卓会議 @500円×12回
- ・消耗品費 49,180円(参加人数で按分)

②出会いイベント及び相談会の実施（610千円）

出会いの場として縁結びイベントを開催する。各イベントにおいて、支援員及び応援隊員は参加者のサポートを行い、イベント後も相談対応等のフォローアップを行う。参加者へのアンケートにより、相手の個別紹介を希望する者に対してお見合いによるマッチングシステムへの登録促進を図る。その他、市内の企業・団体と連携を図り、独身従業員向けに出会いの場としての交流会を開催する。

また、支援員により個別の恋愛・結婚に関する相談対応やカウンセリング、助言を行うことで、決め細やかな会員支援を実現する。

<大規模イベント> 210千円（※1回開催、40人参加予定、事前セミナーと連動して開催）

- ・会場借上料 25千円
- ・講師謝礼 50千円 @50千円×講師1人
- ・印刷費 100千円 ※A4チラシ1,300枚、A3ポスター467枚を市内企業・店舗・公共施設等へ配架・掲示
- ・消耗品費 35,128円(参加人数で按分)

(個別事業の内容)
※(注)3

- <小規模イベント> 225千円 (※12回開催、計120人参加予定)
 - ・印刷費 120千円 @60千円×2回 (半期毎にチラシを作成)
 - ※葉書サイズチラシ1,200枚×2回分、A3ポスター55枚×2回分を市内企業・店舗・公共施設等へ配架・掲示
 - ・消耗品費 105,385円(参加人数で按分)
- <企業間交流会> 98千円 (※1回開催、20人参加予定)
 - ・会場借上料 5千円
 - ・講師謝礼 50千円 @50千円×講師1人
 - ・印刷費 25千円 ※A4チラシ750枚、A3ポスター114枚を市内企業・店舗・公共施設等へ配架・掲示
 - ・消耗品費 17,564円(参加人数で按分)
- <相談会> 77千円 (※6回開催、計18人参加予定)
 - ・会場借上料 15千円 @2.5千円×6回
 - ・印刷費 30千円 @15千円×2回 (半期毎)
 - ※A4チラシ500枚×2回分、A3ポスター41枚×2回分を市内企業・店舗・公共施設等へ配架・掲示
 - ・消耗品費 31,615円(参加人数で按分)

- ③スキルアップセミナーの実施 (156千円)
 会員向けに結婚に対する意識向上やノウハウ取得のための研修 (参加予定 20人×2回) を大規模イベントと連動して行う。
- ・会場借上料 11千円 @5.5千円×2回
 - ・講師謝礼 60千円 @30千円×1人×2回
 - ・印刷費 50千円 @50千円×1回
 - ※A4チラシ850枚、A3ポスター126枚を市内企業・店舗・公共施設等へ配架・掲示
 - ・消耗品費 35,128円(参加人数で按分)

【次年度以降に向けた事業の方向性】
 機能改善を行ったシステムを軸に会員へのサポートを行うとともに、アンケート等により、ニーズを把握しながらブラッシュアップを図る。

【事業実施にあたっての留意点】
 本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4

1. 縁結び支援体制の強化
 - ①縁結び会員データベースの構築・高度化
 アウトプット:改修後、新たにお見合いを希望する会員数 20人
 ※ 全会員485人のうち103人がお見合いを希望(平成31年1月末時点)
 アウトカム:お見合いを希望する会員が引き合わせに至る割合 80%
 - ②支援者の育成
 アウトプット:支援員及び応援隊員の研修受講率 100%(12人/12人)
 アウトカム:研修受講後、3ヶ月以内にお見合いを主催する応援隊員の割合 100%(10人/10人)
2. 結婚希望者のマッチング支援
 - ①お見合いの実施
 アウトプット:お見合いを開催した応援隊員の割合 100%
 アウトカム:お見合い開催後、応援隊員のフォローアップのもと交際に至る組数 60%
 - ②出会いイベント及び相談会の実施
 - <大規模イベント>
 アウトプット:参加目標人数とその達成率 40人(男女各20人)/90%
 アウトカム:イベントの参加を友人等に薦めたいと思った者の割合 80%
 結婚に対する活動に前向きになった者の割合 80%
 - <小規模イベント>
 アウトプット:参加目標人数とその達成率 120人(男女各5人×12回)/90%
 アウトカム:イベントの参加を友人等に薦めたいと思った者の割合 80%
 結婚に対する活動に前向きになった者の割合 80%
 - <企業間交流会>
 アウトプット:参加目標人数とその達成率 20人/90%
 アウトカム:イベントの参加を友人等に薦めたいと思った者の割合 80%
 結婚に対する活動に前向きになった者の割合 80%

<相談会>

アウトプット:参加目標人数とその達成率 18人(3人×6回)／90%

アウトカム:相談者のうち結婚に対する活動に前向きになった者の割合 80%

③スキルアップセミナーの実施

アウトプット:参加目標人数とその達成率 40人(20人×2回)／90%

アウトカム:セミナー参加者のうち婚活への意欲が高まった者の割合 70%

<p>・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注) 5</p>	<p>ひろしま出会いサポートセンターHP上で本事業のイベント等の情報を掲載し、会員拡大及びイベント参加者の確保を図る。その他、出会いイベントにおける連携を模索する。</p>
<p>・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注) 6</p>	<p>本事業は民間事業者への業務委託とし、市と民間の共同事業として位置づける事業者は、個人のプライバシーに配慮しつつ、適切な管理のもとで事業実施する。</p>
<p>・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注) 7</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <small>(関係部局等)</small> 生活福祉部市民生活課 <small>(配慮すること)</small> 本事業の実施にあたっては、価値観を押し付けず、企業・団体等の実情も考慮しながら、ハラスメント防止を含めた関係部署が実施する男女共同参画啓発事業等とも連携し、取り組むものとする。</p>
<p>・委託契約の有無及び契約方式 ※(注) 8</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。</p> <p>■有(以下の①～③から該当するものを選択してください) □無</p> <hr/> <p>□①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式等) □②競争入札方式</p> <p>■③随意契約 [事業の内容: しょうばら縁結び事業]</p> <p>(①を除く) [随契の理由: 委託予定業者は、市内で唯一、結婚支援を扱っている事業者であり、平成28年度から本事業を受託し、結婚支援ノウハウ及び本事業への理解があり、事業遂行に高い効果を見込める]</p>
<p>・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注) 9</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。</p> <p>該当する取組の有無: □有 (取組名:) ■無</p> <p>□有の場合の担当部局:</p>

(注)

- 1 「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。併せて、「交付金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。
- 2 「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組連携しているのかを記載すること。
- 3 「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
 ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
- 4 「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその詳細な結果を都道府県が別に定める日までに報告すること。
 ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
 (過去に設定したKPIも別紙に記載すること。)
- 5 「都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 6 「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。
- 7 「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。
- 8 「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。
- 9 「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。